

授業概要

授業の目的は、中学校教育段階と高等学校教育段階の学校の「教育課程」について、その成り立ちおよび性質などを理解することにある。そして、国の定める「教育課程の基準」に従って扱われる教育内容が子どもどのような能力発達状態を踏まえ、「教科」内容がどのように構成され、今日の情報社会という時代社会の中でどのような「教育課程」のあり方が求められているのかということについて、講義する。

授業計画

第1回	授業の進め方と評価について
第2回	「教育課程」とは、何か？
第3回	国の定める「教育課程の基準」としての中学校学習指導要領と高等学校学習指導要領における「アビリティ」能力と「コンピテンシー」能力の取り扱い
第4回	大学の「教育課程」
第5回	国の定める「教育課程の基準」の必要性
第6回	中学校の「教育課程」における「教科」の内容構成
第7回	高等学校の「教育課程」における「各学科に共通する各教科・科目」の内容構成
第8回	高等学校の「教育課程」における「各学科に共通する各教科・科目」のもたらす人間像
第9回	情報社会が中学校・高等学校教育段階の学校の「教育課程」の「教科」内容に求める「グローバル性」
第10回	中学校・高等学校教育段階の学校の「教育課程」で扱う題材の「グローバル性」
第11回	情報社会が中学校・高等学校教育段階の学校の「教育課程」に求める情報解釈能力の育成（その1）—「読書」の必要性—
第12回	情報社会が中学校・高等学校教育段階の学校の「教育課程」に求める情報解釈能力の育成（その2）—情報のコンテクストを読む—
第13回	中等教育の学校の「教育課程」で扱う「教科」内容の「コンテクスト」（その1）—題材「広島になぜ原爆は落とされたか」をめぐる歴史的検証を事例にして—
第14回	中等教育の学校の「教育課程」で扱う「教科」内容の「コンテクスト」（その2）—ティバート「原爆投下は正しかったのか」を事例にして—
第15回	授業における講義内容(第2～14回)のまとめ
第16回	筆記試験

到達目標

中学校・高等学校教育段階の学校の「教育課程」について、その必要性とともに、その成り立ち（子どもの能力発達状態、「教科」内容構成、時代社会の要請への対応）を理解する。

履修上の注意

毎回の授業で原則的に講義内容に関する小問が出され、それに対する筆記解答が課せられることに留意してほしい。授業開始後30分を過ぎた遅刻（自己申告）が3回の場合 それを以て欠席1回とみなされる。

予習復習

授業に臨むに当たって、授業シラバスと配布資料（前回授業までに配布された資料）を事前に読んでおくことと共に、授業終了時に出される小問事項を中心に復習することが必要とされる。

評価方法

期末筆記試験の結果と毎回授業の小問解答結果に基づいて評価が行われる。期末筆記試験の受験資格は、全授業回数の3分の2以上に出席していることとする。

テキスト

毎回の授業に関して配布される講義資料を以ってテキストとする。参考資料：中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領